



シリーズ・親オヤ！？

2月

発達に偏りのある子への理解と対応



「子どもが抱える困難さ」

背景として考えられること、対応のしかた

子どもは成長するにつれて新しい課題に出会います。時には癇癢、暴力、暴言、自傷、不登校などの問題が起り、保護者も悩まされることとなります。

どんな子どもにも起りうる問題ではありますが、発達に課題のある子どもたちの場合、特に、背景にどんな困り感があるのかなどを周囲が理解し、その子ならではの課題を見つけることが対応のヒントになるのではないのでしょうか。

当日は、発達に偏りのある様々の親子を支援して来られた講師のお話と併せて、皆さんの体験や思いも共有したいと思います。参加された方にお子さん自身のことや対応について新しい気づきが得られる場になれば幸いです。

日時：2月17日（月） 10時～12時

場所：白山愛児園 地域交流スペース

講師：吉澤 宏次氏 元神奈川県発達障害支援センター神奈川 A(エース)ケースワーカー
現在、社会福祉法人 宝安寺社会事業部「ふじみのさと」専門員と法人地域連携担当兼務 その傍ら、各種勉強会講師、親や支援者に対する支援活動、おやじの会アドバイザー、引きこもり支援など、多岐にわたる活動を続けている。

対象：発達が気になるお子さんの保護者、支援者

参加費：無料

定員：10名程度

締切日：2月10日(月) ただし、定員に達し次第、締め切らせていただきます。

申込方法：メールにてお申込みください。 hakusan-jikasen@aijien.or.jp

下記の内容をご記入ください。

- ①お名前
- ②住所
- ③電話番号
- ④お子さまの学年、性別
- ⑤このチラシを入手された場所